

議 事 録

会議の名称	令和2年度 第2回 愛荘町総合教育会議
開催日時	令和2年11月18日(水) 午後2時30分
開催場所	秦荘庁舎2階 第会議室
出席者	<p>【構成員】7名</p> <p>町長 有村 国知、 副町長 石田 政則 、 教育長 徳田 寿 教育長職務代理者 森 秀昭 教育委員 松浦 延代、中村 由香里、八島 琢磨</p> <p>【事務局】8名</p> <p>政策監(総務) 上林 市治 政策監(福祉) 岡部 得晴、 教育次長 青木 清司 教育振興課課長 田中 幹雄 生涯学習課長 陌間 秀介 図書館館長 茶谷 えりか 給食センター所長 本田 有弘 教育振興課主査 久保 泰代</p> <p>【傍聴者】1名</p>
議事日程	<p>協議・報告事項</p> <p>「地域(住民)が育てるしくみづくり・地域(住民)が育つしくみづくり」</p> <p>「愛荘町教育大綱策定について」</p>
作成者	教育振興課 久保 泰代
審議内容	午後2時30分 開会
青木次長	<p>ただいまから令和2年度第2回愛荘町総合教育会議を開催いたします。開会にあたりまして有村町長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
有村町長	<p>こんにちは。本日は第2回愛荘町総合教育会議どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は朝から皆様と視察ができて大変光栄に思います。一昨日野口宇宙飛行士がクルードラゴンで国際宇宙センターにドッキングされたことが報道されてきました。初の民間企業が開発した宇宙船ということで、それができる民間企業があるということに驚きを感じました。今の子どもたちが目指すところは基本的に私たち大人の背中を見ていくこととなりますが、その大きなビジョン、可能性を提示していくのは私たち大人の責任であると強く思います。目先のことを一つ一つ達成していくことは大事ですが、その先の人生、それぞれの時代を生きるものとして果たしていく責任や役割をしっかりと伝えていきたいと考えております。そのためには皆様としっかりと力を携えながら行っていきたいと考えております。</p>

青木次長	<p>また、教育委員の皆様には日ごろよりお世話になり本当にありがとうございます。今日もどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。それでは会議に移りたいと思います。会議の運営につきましては、愛荘町総合教育会議設置要綱に基づいて進めてまいりたいと思います。</p> <p>それでは設置要綱第4条によりまして、町長が議長になることから、会議の進行を有村町長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
有村町長	<p>それでは設置要綱に基づいて議長を務めさせていただきます。よろしく願いします。次第1議題の協議事項は「地域（住民）が育てるしくみづくり・地域（住民）が育つしくみづくり」にかかる意見交換です。まず教育振興課学校教育担当課長よりご説明いただきます。よろしく願いいたします。</p>
田中課長	<p>「地域（住民）が育てるしくみづくり・地域（住民）が育つしくみづくり」資料により説明</p>
有村町長	<p>説明ありがとうございました。それでは教育委員の皆様と共に意見交換をしたいと思います。ご意見いかがでしょうか。</p>
八島委員	<p>地域学校協働本部はどこに置くのですか？</p>
田中課長	<p>地域学校協働本部は、各学校の中に設置をする予定です。</p>
八島委員	<p>そこには誰が配置されるのですか？</p>
田中課長	<p>基本的には現存の学校評議委員様をはじめ、ボランティアに精通した方を各学校に配置し、地域との調整をしていただくというふうのアレンジする予定です。ただそこは常設ではなく、時には教員がその役を兼ねることもあります。</p> <p>必要な際に集まって協議をしていただきます。</p>
八島委員	<p>個人的な意見で仕組みができていながら仕方ありませんが、学校の中に組織を作るのであれば運営協議会と共同本部との役割がよくわからないし、それぞれの学校で勝手に考えなさいというように思えるので、地域学校協働本部を教育委員</p>

<p>徳田教育長</p>	<p>会の中につくり、町内すべての小中学校・幼稚園についての支援を教育委員会がまとめて担うほうがよいと思います。</p> <p>今、地域学校協働本部の事務局は生涯学習課の職員が担っています。この学校運営協議会というのは、単に学校の支援をするというだけではなく地域も学校の経営や評価・改善に関わって責任を持つというものです。学校・地域・家庭が共に育てるという意味の教育を進めていこうということが趣旨です。それぞれの学校で特徴・強み・人材があります。時には横の連携が必要になることもあります。コミュニティスクールの場合は独自性を活かしながら支援する実働部隊のほうは学校協働本部が中心になって、評価・改善の部分については学校運営協議会が担うというように役割分担をしながら関わり、そして共に子どもの教育に力を貸していただくということです。コミュニティスクールの中を見た場合には運営協議会という部分と協働本部と重なる部分が人的にもあるかもしれませんが、それぞれの地域の特徴を活かしたほうがより双方向の関係でうまくいくのではないかと考えています。</p>
<p>町長</p>	<p>他にご意見はありますか？</p>
<p>八島委員</p>	<p>私はこれには賛成できません。学校協働本部も同じ学校の中にあるなら、同じ人が行うのではないかと思います。それと運営協議会は保護者代表や地域の方とか評議員とか、結局その人が両方しなければならないような気がします。そのためそれぞれ地域の学校の実情は確認しながら、進んでる学校とそうでない学校にならないように本部として教育委員会が主導して協働本部とは別組織で作られるのがよいと思います。</p> <p>ちなみ進捗状況はどうですか？</p>
<p>徳田教育長</p>	<p>現在校園長に十分な説明をしています。また、地域学校協働本部はこれまでもそれぞれの学校に対していろいろな支援をしてきている実績があります。そのためそこは新たに作る必要はありません。愛荘町に合うように学校評議員の制度もいったん白紙にして学校運営協議会のほうへメンバーにスライドしていただいたり移行しやすい形で今準備を進めていただいているところです。八島さんがおっしゃるように学校を支援してくださる方が例えば秦荘幼稚園と秦荘東小学校と秦荘中学校と重なって行っていただくということはあると思います。全て潤沢に人材がおられるかどうか定かではありませんが、それぞれのところで適任者を</p>

八島委員	<p>発掘し登録していただけるように町は支援をしていく必要がありますが、よりすごい技術を持っておられる方という以外にもいろんな形でサポートしていただける方がいらっしゃるののでそれぞれの学校単位で独立していけるように町として支援していければと思っております。</p> <p>地域学校協働本部というのは各校にすでにあるのですか？</p>
徳田教育長	<p>学校本部支援事業というのがありまして、今既に地域の方々がボランティアで学校を支援してくださるシステムがあります。現在は全体的に生涯学習課が関わっていますが、それをうまく分離、時にはコーディネートすることで緩やかに移行していけると考えています。</p>
森委員	<p>主としてボランティアなどを束ねる担当が生涯学習課に、また各学校にはコーディネーターがいます。各校でまず話し合いをして学校から町教委にボランティアの依頼をします。去年信楽に行った際、教育研究所も関わり、ボランティアの人たちも学校の中に事務局として入っている非常に強固なシステムが組み立てていました。この場合も学校に協働本部があって、それがうまく学校の中でいろんなところと交渉しておられた印象がありました。運営協議会のほうも学校の中に評議員さんがおられますが、全部移行して今度は形が変わります。学校運営基本方針に対して校長から説明を受けるとそこから承認をして話し合いを持ち、外部からの質問や意見・教育方針・運営に関するものも入ってきます。ここでの話を学校に戻して学校で取りまとめたものを外部へ発信していこうという形と思っています。このような考えで大丈夫ですか。</p>
徳田教育長	<p>補足しますと、これまでも学校が地域から支援してもらおうという形がありました。お手元の資料 6 ページにも「これまで 5,000 名を超える地域の皆さんに様々な内容でご協力いただきました」とあります。今まで学校としては非常に力強いしくみが愛荘町の中にありました。ただ、学校としては支援してもらえばかりではいけないし、学校も地域にももちろん貢献する、そして学校と地域と家庭が一緒になって活動を作り出すそうした共同・貢献の活動で人と人がつながりあう、そうしたしくみの中で子どもが育つのだという発想だと思います。コミュニティスクールが始まった時にはよいのですが、例えば土日に事業を行うときなど職員の出勤を求められるなど、学校側で負担を感じ、一時広がらないということがありました。学校運営協議会は校長が作成した学校経営計画を承認する権限が</p>

	<p>あります。しかし、校長とその運営協議会の関係は上下ではなく学校運営協議会は校長のよき理解者であり、学校の応援団・サポーターという位置づけでないと思いません。愛荘町の場合は特にその部分を訴えていきたいと考えています。是非地域の方々には学校運営協議会に入っていていただき校長と横並びという関係をご理解いただき、一緒にご参加いただきたいと思っています。</p>
八島委員	<p>学校運営協議会はそれでいいと思うけれど、学校協働本部を各学校に作るのには反対です。ボランティアを集めるにしても、特技のある人は校区外でも指導できるよう町が中心になってボランティアの情報などを取りまとめたほうがよいと思います。学校ごとではレベルが変わってきます。内容を均一にしようと思うと教育委員会がしっかり責任を持って本部として、その下に各校にコーディネーターを置く体制のほうが人もすぐに集まると思います。各学校に執着する必要がないのではないかと考えます。</p>
教育長	<p>地域委員会の方々には全ての学校で共有させていただいたらいいと思います。現状各学校園でも直接ボランティアの方々をお願いしている部分がありますので、町に本部を置くのは決して無理なことではないと思います。ある学校には選択できるボランティアがたくさんいてこちらには全然いないということにはならないように、全体のボランティアさんの情報を共有するなどして活用させていただきたいと思います。ただ、それぞれの校園にコーディネーターを置いて運営協議会との連携をするということも必要になってくると思いますので、こうした2本立てでいくことを目指したいと思っています。</p>
青木次長	<p>下校指導、登校指導していただく方も今まではバラバラでしたが、一つの学校で登録をしてもらうという形のものであります。そこに推進員1人、コーディネーターを1人設置し、それを学校単位で行い、生涯学習には指導員という形で配置して、学校のコーディネーターに集まってもらい情報共有、困りごとなどを共有してもらいます。学校運営協議会というのは今までの評議員をなくして一つの学校を運営する会を作ってもらいます。今日学校を訪問したときに校長が示した経営計画、こういう事業を考えている時にたとえば八島さんが推進委員だったら「知り合いに声をかけよう」というのが協働本部です。本部とつくと組織としてしっかり置かなければならないようですが、教育長がおっしゃるような今までのようなボランティアさんが関わってくださった吸い上げなどは生涯学習課のほうでや</p>

八島委員	<p>っていただく予定です。</p> <p>生涯学習課には関連組織はできませんか。</p>
青木次長	<p>できます。</p>
八島委員	<p>名前がこれなら仕方ないけれど、たとえば「愛荘町学校協働本部」が教育委員会にあってその傘下に「秦荘東学校協働本部」があるなど、とりあえず町が支援してほしいと思います。先ほどの話であれば「学校に任せた」「今まで通りで」としか思えません。私立学校ではなく公立学校なので学校でレベルがひらくことなく教育委員会が主導権を持ち采配してほしいです。</p>
教育長	<p>それぞれのコミュニティスクールとの連携について、レベルがどうかというと難しいですが、そのために連絡協議会を組織してバランスや、共有している課題等をともに解決して行くことも大事だと思います。学校園の特色ある教育活動と同じでそれぞれの地域性もありますし、私は長く継続していくためには各学校流というものが出来て来てもいいと思います。歩みを合わせる部分、特色を出す部分両方必要かなと思います。</p>
八島委員	<p>最初から現場に任せるとそれぞれの特徴が出て、そこで終わってしまうことが一番心配です。新しくスタートするなら今はできないけど今の状態を少しずつ変え将来はこうしたいという位高い目標を持つべきだと思います。私は教育委員をさせていただき町内の学校園は建物も風紀もほぼ統一され、その中で独自の活動をしているという姿が一番いいのではないかと考えています。地域の特性を活かしすぎてそこに全部任せることがないようにしてほしいです。</p>
教育長	<p>ご指摘の通りだと思います。ある程度愛荘版のコミュニティスクールはどういうことを目指すかを教育委員会から示すつもりです。たとえば学校の中の教育活動は3つまたは4つに絞っていくように等リード役はさせていただこうと思っております。</p>
有村町長	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
中村委員	<p>保護者の立場としてですが、自分の子が学校にいた時にミシンの指導に行った</p>

	<p>ことがあります。先生からのおたよりには「来てくれるだけでいい」とあり、軽い気持ちで参加しました。子どもと一緒にミシンをかけるだけでしたが、行ってよかったと思い他の保護者にその話をしたら「資格もないのによく行ったね」と言われました。資格等なくても行きたい気持ちを持っている人・協力したい人はたくさんいると思うので敷居の低い感じがあったほうがいいと思います。</p>
有村町長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
松浦委員	<p>私自身の子どもはもう学校にはおりませんので、学校には近づきにくいイメージがあります。職場の子が参観に行くというのを聞くと「そういう所に行けるのはいいね。一番大切な時期ね」と声をかけます。私も何かできることがあれば参加させていただきたいと思います。今の子の考え方に世代を超えて触れる良い機会にもなります。八島さんが「町内均等に」という考えは理解できますが、まずは地域・地元で固めていき、問題提起や情報共有しながらこのコミュニティスクールをいい方向に持っていけたらいいなと思います。</p>
有村町長	<p>松浦委員ありがとうございます。想いをこめてくださったゆえのご意見を拝聴でき本当にうれしく思います。</p>
青木次長	<p>今現在各校園長に集まっていたいて支援人材についてはほぼ学校評議員さんをスライドさせるなりして確保できたかなと思っています。ただ支援本部の推進員さんはたとえば八島さんのような方が来てくださって、助けてくださる人がしっかりと地域学校共同本部にいてくださると学校としてはありがたいというところです。</p>
有村町長	<p>ありがとうございます。本日いただいたご意見を十分検討いたしましてコミュニティスクールを含め教育施策に反映していきたいと存じます。ここで進行を事務局に戻します。</p>
青木次長	<p>有村町長、進行ありがとうございました。</p> <p>もう一つお手元に教育大綱（案）を配布させていただきました。先日策定委員会の小委員会を開催させていただき、このような形でよいとお話をいただいています。この教育大綱につきましては本日の総合教育会議で最終的には決定をしていただくということでございますが、6 ページにそれぞれ取り組むべき項目とい</p>

	<p>うことで目標を9つ掲げ具体的にどうしていくかがということ以降が教育基本計画ですが、そちらを先に組んでみないと取り組むべき項目が変わってくるのではないかというご意見をいただきましたので最終的に教育振興計画と併せてこれについても決定をいただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。1ページはそれぞれの大綱の位置づけと計画の期間でございます。2ページには愛荘町の教育基本方針ということで「人が輝き人が育つ未来を拓く愛荘の教育」ということで非常にいいのではないかと思います。「輝く」「人が育つ」というところそれぞれの意味を下に書かせていただいています。これについては今後コミュニティスクールの資料にも書いておりますが、こういう資料でどしどしと使っていきたいと考えております。そして3ページでございますが、ここについては生涯学習も含めまして「人生100歳 100年の学び」というところでの教育、そして教育の視点というところでこれは愛荘町の総合計画に5つの視点というのがございます。それをそのまま教育大綱にも引用させていただきまして「志・つながり・やすらぎ・かがやき・にぎわい」このキーワードを5つの視点ということにさせていただきました。次のページにはその5つの視点それぞれ取り組んだ中での「夢・志・生きる力を育む」2番目には「地域で支えあいつながりと安らぎで豊かな人生を育む」3番目に「人生100年輝きにぎわいのある学び」ということでこの5つの視点を入れた基本目標を策定させていただきました。これらを中心に5ページでございますが9つの目標を掲げさせていただきました。今後これを軸にいたしまして教育振興基本計画を策定していきたいと思っておりますのでそれとセットで年明けにご承認いただきたいと考えておりますのでご承認よろしくお願いたします。事務局のほうからは以上でございます。</p>
八島委員	<p>目標8の生涯学習と、特に高齢者を中心にボランティアを一生懸命する等それをもう少し充実した内容で実行計画を作ってもらえたらと思います。人生100年の後半を楽しく過ごすにはこんな研修がありますとかそういうところをもっと充実してもらったほうがいいかな、という気がします。</p>
青木次長	<p>ありがとうございます。今おっしゃったボランティア、自分の技術を活かすという事は先ほどのコミュニティスクールでもご協力いただきたいと思っておりますので、この辺は生涯学習の中でもまた計画を立てていただいて高齢者の活躍の場をと思います。</p>
教育長	<p>補足ですが教育大綱自体は首長が作成するということですので、町長が作成す</p>

<p>青木次長</p> <p>中村委員</p> <p>青木次長</p>	<p>るということですが、有村町長からは以前子どもに期待するということで「公益に資する生き方をよしとする感性」、そういう視点を持ってほしいということが1点と「生き物としてのスイッチを入れる」という重要な視点2点のご意見をいただいています。その部分を大綱の前文として入れる、あるいは教育振興基本計画の中に我々の考えと重なりがありますので十分その視点を盛り込んでいけるかなと思っておりますが、作成に当たってはそのあたりを意識していきたいと思っております。</p> <p>町長からは1ページと表紙の間に「はじめに」というところで町長からのメッセージを掲載したいと思っております。</p> <p>S D G s などの専門用語には説明があるとよいと思います。</p> <p>ありがとうございます。注釈を加えさせていただきます。</p> <p>以上で第2回の総合教育会議を終了したいと思います。 ありがとうございました。</p> <p>午後3時30分 閉会</p>
-------------------------------------	---